

局長がえるぼし企業視察

愛知労働局、取り組み広く発信



小林局長に説明する鶴田会長社長(右端)

小林洋子愛知労働局長は19日、女性活躍推進企業を認定する「えるぼし」の最高位である3段階を取得している自動車プレス部品メーカーのツルタ製作所(本

社刈谷市一里山町)を訪れ、鶴田昌宏会長・社長と女性活躍推進など多様な人材の活用に関する意見交換をした。同局初の試みで、先進的な現場の取り組みを聞き、

広く発信するのが狙い。

ツルタは2023年に3段階を取得している。製造業でありながら女性従業員比率が4割と高く、管理職比率は17%と産業平均の3・4%を大幅に上回る。また高齢者や障害者の採用にも積極的なことから視察先に選ばれた。

小林局長は工場で女性がスポット溶接をしたり、機械加工をしたりする様子を視察。鶴田会長・社長から「女性は安全衛生法違反になるため重量物だけ扱えないが、ほかの作業はすべてできる」などと説明を受けた。

その後、意見交換会を実施。鶴田会長・社長は「入社後6カ月間は研修期間として、安全教育をするだけでなくプレス加工や溶接など一通り経験してもらおう」と述べ、「それぞれの適性を見て配属すること」で、定

着率が上がった」と話した。

小林局長は「人材戦略が経営戦略とマッチしている。多様な人材の活躍と職場環境の整備をしっかりとやらせていて、お手本だと感じた」と感想を述べた。

視察の様子は同局のホームページやYouTubeで発信し、他社の参考にしてもらう。